

ひなんじょ 通信

常盤台小学校地域防災拠点統括本部情報班

「ひなんじょ 通信」 発刊によせて

常盤台小学校地域防災拠点管理運営委員会委員長
石川 源七



はじめまして、常盤台小学校地域防災拠点管理運営委員長の石川源七と申します。

この度、地域住民の皆様には常盤台小学校地域防災拠点について知って頂き、災害が発生した時に正しい避難行動をとって頂く事と、常盤台小学校地域防災拠点の開設と

運営をスムーズに行う目的で「ひなんじょ通信」を発刊しました。

本誌は、必要に応じて、年に2～3回刊行する予定です。

本誌を通して、避難所を身近に感じて頂くと共に、普段から住民皆様のご意見を頂き、いざ発災時に少しでも、暮らしやすい避難所を目指したいと思います。

ごあいさつ代わりに、避難所となる常盤台小学校地域防災拠点の役割を紹介させていただきます。地域防災拠点には、いくつかの大事な役割があります。

- 1つめは、 常盤台、峰岡町三丁目、峰沢町、岡沢町にお住まいの住民が被災し、自宅で宿泊することが出来ない場合、体育館・教室に宿泊して頂く場所となります。
- 2つめは、 高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦、等災害時要援護者が避難する場所になります。
- 3つめは、 避難者の安否情報、地域の安否情報、被災状況の掌握と保土ヶ谷区役所防災本部への報告
- 4つめは、 災害発生後、保土ヶ谷区役所の防災本部からの情報を、地域の住民にお知らせします。
- 5つめは、 地域防災拠点に支給された水・食料・毛布等の救援物資を、自治会、町内会等を通して各地域に配布します。

この、役割を円滑に果たすため、地域の自治会や団体の会長からなる常盤台小学校地域防災拠点管理運営委員会があり、地域防災拠点の運営に関する重要事項を審議決定していきます。

実際の避難所運営は、各自治会から選出されましたオペレーションスタッフ(OS)が5班に分かれ、日頃から研修等で避難所運営のスキルを磨いています。本誌の発刊を機に、益々地域の防災・減災の向上に励んでいきますのでよろしくお願い申し上げます。

地域防災拠点の開設

常盤台小学校地域防災拠点は、次の時に開設致します。

- 1、 横浜市内で1ヶ所以上震度5強以上の地震が発生した時、
- 2、 火災、台風、豪雨等で、行政から開設の要請がある時、
- 3、 防災拠点統括本部会議を招集し、過半数の賛同が得られた時

お知らせ コーナー

避難する時に、知って頂きたい大切な5点を、紹介します。

- 1、 常盤台小学校域防災拠点避難所には、お米の備蓄はありません！
食料は、避難者が持ち寄って下さい！

常盤台小学校地域防災拠点には、炊き出し用の大きい炊飯器はありますが、防災備蓄庫には、お米はありません。
避難する人は、自分の食べる分のお米を持って来て下さい。

常盤台小学校地域防災拠点防災備蓄庫にある食料の備蓄は、沢山の人が何日も避難生活できる量はありません。現在ある備蓄量は、1,000人で1日分程度です。基本的には、避難する人が持ち寄る食料と発災後に届く救援物資が頼りです。

救援物資が届くのは、被害状況や道路の回復状況によりますが、発災から4～5日以降になる可能性があります。

その為、避難される方は食料の持ち込みをお願いします。

勿論、家の倒壊や火災などで持ち出せない場合は別です。

ご家庭でも、普段から3日分程度の食料や水の備蓄を心がけましょう。



- 2、 身障者の避難は、介助者が一緒に同行して下さい！
車椅子の場合は、なるべく2人の介助者が同行して下さい！

災害時に避難する時、余震や火災の発生と家屋や壁や電柱等の倒壊で、身障者単独の避難行動は危険です。必ず健常者の介助が必要です。

車椅子の方の避難の場合は、障害物や急勾配な坂道を通ることを想定して、なるべく2人の介助者をお願いします。

そのため、普段からいざの時、誰が介助するか、ご家族やご近所で話し合ってください。



- 3、 ペット避難の場合、避難場所は校庭の一面を用意しますが、管理はペットの飼い主同士の責任で管理して頂きます。ペット用のケージや飲料・餌は、飼い主が持参して下さい。

最近ペットを飼っている世帯が増えています。家族同然にしていって一緒に避難したい人も少なくないと思います。そこで常盤台小学校地域防災拠点ではペットの避難場所を用意しています。

但し、ペットの避難所の管理は飼い主同士でお願いします。ペットはケージに入れて頂きますが、ケージは飼い主が用意して下さい。ペット用の餌は地域防災拠点で備蓄してませんので餌も飼い主が、用意して下さい。



- 4、 避難時に救急救命カプセルに入っている。避難者カード(記入済み)を、持参して下さい。

常盤台地区連合町内会(常盤台・峰岡町三丁目)と中央東部北地区(峰沢町・岡沢町)では、各自治会・町内会を通して、避難者カードを全世帯に配布します(2020年度予定)ので、必要事項を記入し、救急救命カプセルに入れて冷蔵庫に保管して下さい。

発災時、常盤台小学校へ避難する時は、この救急救命カプセルを持って避難し、避難所の受付で避難者カードを提出して下さい。

火災や家屋倒壊で救急救命カプセルが取り出せない場合は避難所受付で避難者カードに記入して頂きます。

尚、救急救命カプセルが無い世帯は、各自治会・町内会へ申し出下さい。



- 5、 避難所の運営に、避難者も参加してもらいます。

避難所では、避難者の受入れ、避難者への飲料や三度の食事供給、トイレの設置や管理、避難所内の情報伝達、避難所のゴミ処理、避難所内の衛生管理、要援護者への対応、避難所内の警備等々やることが沢山あります。これらの運営は、オペレーションスタッフが指導し避難者にも参加してもらいます。

- ① 情報班、② 食料班、③ 救出・救護班、④ 民生委員班、⑤ 総務班 などの班に所属して頂き、避難所運営に務めます。

具体的な例として、食料班では炊飯のため、お米と水をビニール袋に適量入れて、炊飯釜のお湯にて炊飯する作業を行います。





No: 10
行事: 防災訓練
内容: 収容内点検報告



No: 45
行事: 防災訓練
内容: 搬出シヤックを操作訓練



No: 11
行事: 防災訓練
内容: 搬出点検



No: 46
行事: 防災訓練
内容: 災害復旧訓練

スタッフ募集コーナー

1、オペレーションスタッフ

避難所で、避難者の受付・避難所案内・飲料や食料調達・トイレ設置管理・情報管理等、避難所運営のスタッフです。

各自治会町内会から2名～3名選出して頂きます。

オペレーションスタッフ希望者は、所属する自治会・町内会の班長か会長へ申し出下さい。

2、専門スタッフ

避難所で必要とする専門的な能力や資格をお持ちの方、避難所開設の時に、お力をお貸し下さい。

外国語通訳・看護師・介護士・保健師・保育士・調理師・栄養士等各自治会・町内会の班長か会長へ申し出下さい。

後日、回覧等で、募集のお知らせを致します。

(編集後記)

- ・ 構想から約2年、ようやく発行することができました。
- ・ 東日本大震災から9年が経ちました。本誌を通して、防災意識や避難所の運営について理解が深まって頂けると幸いです。
- ・ 災害は忘れた頃にやってくると言われています。
備えあれば憂いなしですので、出来ることから始めませんか？